ＭＳ２２０－１８００１
モノブロックブレーキキット 取付・取扱説明書

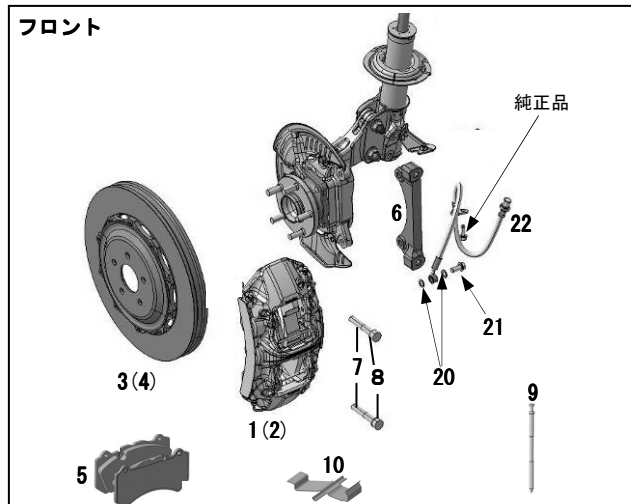
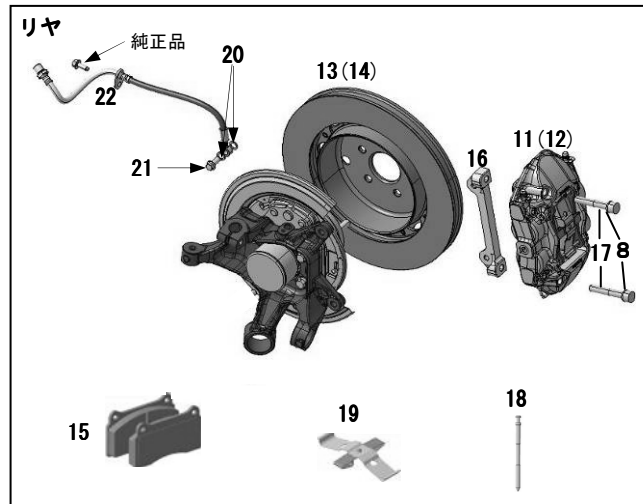
この度は８６用ＴＲＤモノブロックブレーキキットをお買い上げ頂き有り難うございます。
本書には上記ＴＲＤモノブロックブレーキキットの取付要領と、取扱について記載してあります。
取付前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。
★ 本商品は重要保安部品です、取付は必ず認証を受けた整備工場で実施する事を厳守して下さい。

■ 品番及び適用

品　番	適用車種	型　式	年　式	備　考
MS220－18001	86	ZN6	’12.04～	

★ 本商品取付後の使用ホイールは、専用品・ＴＲＤ１８インチ鍛造アルミホイール(ＳＦ２)となります。

■ 構成部品（組付開始前に必ず内容を確認して下さい）

	部　品　名	品番	数量	備考
1	フロントブレーキ キャリパーＡｓｓｙ ＲＨ	47710-ZN600	1	
2	フロントブレーキ キャリパーＡｓｓｙ ＬＨ	47720-ZN600	1	
3	フロントディスクＲＨ	43512-ZN600	1	
4	フロントディスクＬＨ	43512-ZN610	1	
5	フロントブレーキパッド	47746-ZN600	4	同一品４枚 ・補給は４枚セット品
6	キャリパーサポートブラケット	47751-ZN600	2	Ｆｒ用
7	キャリパーボルト		4	Ｆｒ/Ｒｒ共用 １７に同じ
8	キャリパーボルト用ワッシャ		8	構成品 7,17 に共通使用品
9	パッドスライドピン		4	Ｆｒ用
10	アンチラトルスプリング		2	Ｆｒ用
11	リヤブレーキキャリパーＡｓｓｙ ＲＨ	47810-ZN600	1	
12	リヤブレーキキャリパーＡｓｓｙ ＬＨ	47820-ZN600	1	
13	リヤディスクＲＨ	42431-ZN600	1	
14	リヤディスクＬＨ	42431-ZN610	1	
15	リヤブレーキパッド	47746-ZN610	4	同一品４枚 ・補給は４枚セット品
16	キャリパーサポートブラケット	47883-ZN600	2	Ｒｒ用
17	キャリパーボルト		4	Ｆｒ/Ｒｒ共用 7に同じ
18	パッドスライドピン		4	Ｒｒ用
19	アンチラトルスプリング		2	Ｒｒ用
20	ガスケット		8	21 ブレーキホースセットに同梱
21	ユニオンボルト		4	
22	ブレーキホースセット	47031-ZN600	1	Ｆｒ/Ｒｒ １台分
23	Ｒｒブレーキダストカバー切欠用指示書		1	８ページに記載
24	取付・取扱説明(本書)		1	

■取付・取扱上の注意

⚠注意（１）本商品は重要保安部品です。本商品の取付作業、及びメンテナンスによるパッド交換等は必ず認証を受けた整備工場で作業を行って下さい。（**パッド交換基準：バックプレートを含み８ｍｍ**）

⚠注意（２）本商品の交換・取付の際は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）及び、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。（**取付作業工程内の締付指定トルクは必ず、厳守の事**）

⚠注意（３）本商品は制動性能を重視している為、純正品に比べ制動時の鳴きが発生する場合があります。

⚠注意（４）本商品をサーキット走行、自動車競技等、一般公道以外で使用した場合、全てが保証の対象外となりますので、ご承知おき下さい。

⚠注意（５）本商品の交換・取付作業は、慎重かつ正確に行って下さい。また、周囲のほこりなどにも十分注意して下さい。破損や事故の原因となる場合があります。

⚠注意（６）ブレーキフルードが塗装面に付着した場合はすぐに水で洗い流してください。そのまま放置しますと塗装面を傷めたりする場合があります。

⚠注意（７）本商品の交換・取付の際は、ブレーキフルードはすべて交換してください。古いブレーキフルードと混用すると性能を発揮できないばかりでなく、沸点の低下等がおき、制動力低下による事故の原因となる場合があります。

⚠注意（８）ＡＢＳ付車の場合、ＡＢＳなし車に比べエア抜きに時間がかかります。エア抜きが不十分ですとベーパーロック等が発生し、事故の原因となる場合があります。

⚠注意（９）取付後、本商品と他部品とが干渉していないか確認をして下さい。干渉している場合は、購入された販売店にご相談下さい。そのまま走行されますと、破損や事故の原因となる場合があります。

⚠注意（10）取付後、走行を行う前に停止状態でブレーキペダルを何度か踏み、踏力の確認をしてから走行して下さい。また、本商品を取付した車両はブレーキの効きが変わります。車両に慣れるまでは急激な運転操作は行わないで下さい。事故の原因となる場合があります。

⚠注意（11）取付後、ブレーキペダルストロークが浅くなることがあります。

⚠注意（12）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、専門の整備工場で点検を行って下さい。そのまま走行を続けますと、破損や事故の原因となる場合があります。

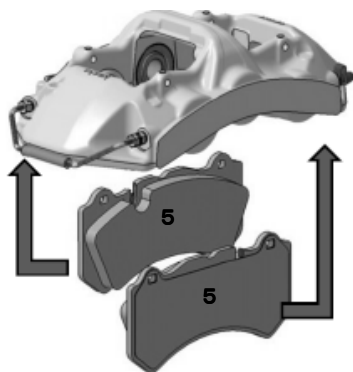
⚠警告（1）　本商品取付後も車両毎に定められた内容で必ず定期点検を実施して下さい。点検を怠りますと破損や事故及び故障の原因となる場合があります。

⚠警告（2）　ブレーキホース、キャリパーシール等定期的な交換が定められている部品については必ず交換を実施して下さい。交換を怠りますと破損や事故及び故障の原因となる場合があります。

⚠警告（3）　ブレーキホースは消耗品です。必ず車両毎に定められた時期にて交換を実施して下さい。交換を怠りますと破損や事故及び故障の原因となる場合があります。

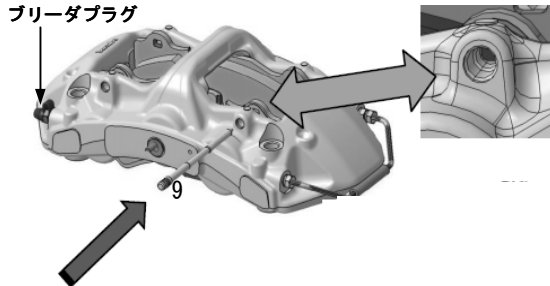
⚠警告（4）　本商品を分解したり、加工することは絶対しないで下さい。破損や事故の原因となります。

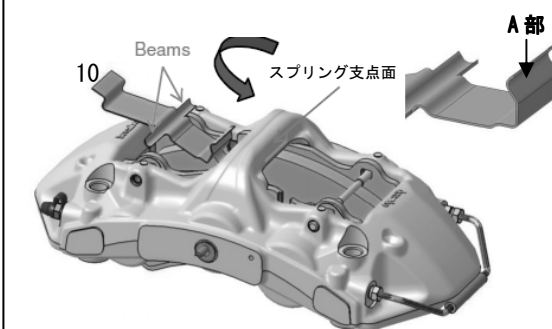
⚠警告（5）　本商品を適合車種以外に絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。

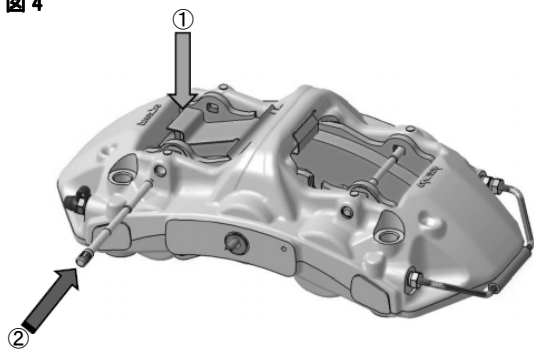
■右フロントブレーキキャリパー組付～取付作業

1. フロントキャリパーのＡｓｓｙ化

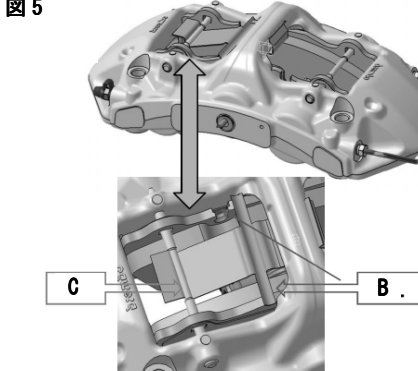
1. 図１を参考にキャリパー内側から構成品５のパッドを入れる。

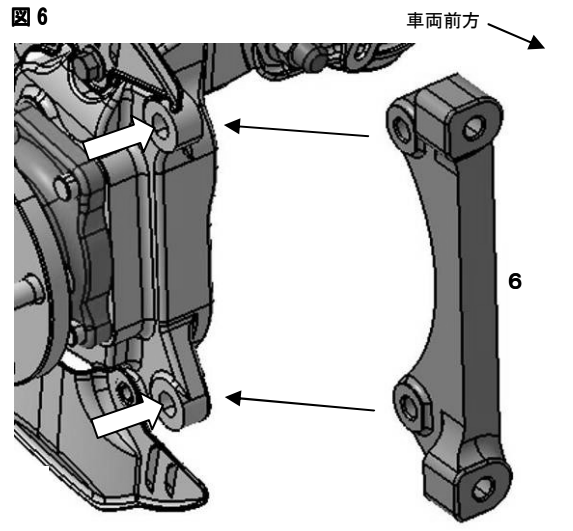
⚠注意
- パッドを落下させたり、叩いて入れる等の乱暴な扱いは、絶対にしないで下さい。
- パッドは４枚同一で方向性はありません。

Racing Development TRD トヨタテクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

2. 図２のように車両取付状態で下側になる開口部のピンホールに構成品９のパッドスライドピンを挿入する。

⚠注意
車両装着時、ブリーダプラグ側が上方になります。
パッドスライドピンは軽く叩きながら、最後まで確実に挿入して下さい。

3. 図３のようにキャリパー開口部の上側から構成品１０のアンチラトルスプリングのＡ部がキャリパーブリッジ部のスプリング支点面に密着し、Beams 部でパッドのバックプレートを押えるように取付ける。

⚠注意
取付け時、アンチラトルスプリングを変形させないように注意して下さい。

4. 図４のように①方向へアンチラトルスプリングを押下げ、②の方向にスライドピンを挿入、アンチラトルスプリングの上面を通すようにし最後まで確実に挿入する。

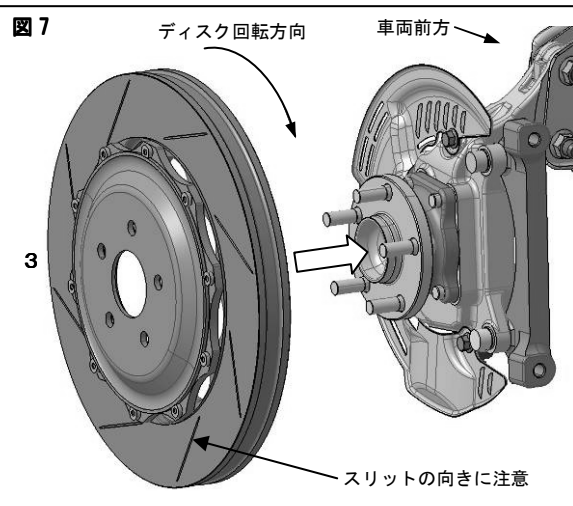
⚠注意
パッドスライドピン挿入時、アンチラトルスプリング端面とパッドスライドピン先端が干渉しないように、確実に押下げて挿入して下さい。

5. アンチラトルスプリングのパット押え部がＢで示す位置にあるか、キャリパー本体に接触していないか、パッド裏金凹部に挿入されていないかを確認する。
又、Ｃで示すようにパッドスライドピンの凹部にアンチラトルスプリングがあり、スライドピンの凹部外にアンチラトルスプリングが乗上げていない事を確認する。

2. 左側も同様にＡｓｓｙ化作業を実施する。

1. 右前キャリパーサポートブラケットの取付

1. 当該車両の修理書に従い、車両からキャリパー、ディスク、ブレーキホースを取外す。

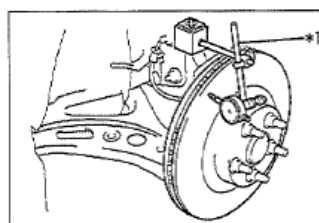
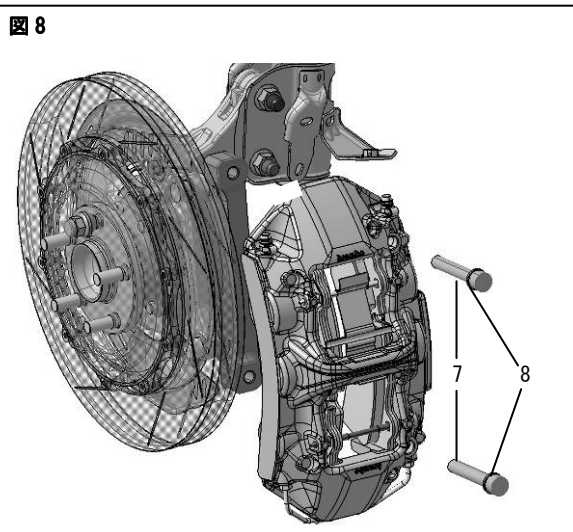
⚠注意
1. ブレーキフルードを抜くか、洩れ止めの処置をし塗装面にフルードが付着しないように十分に注意し作業して下さい。
2. 取外したキャリパーボルトとブレーキホース中間固定ボルトは、後作業で再使用しますので保管して下さい。

2. 図６のように車両のキャリパーマウントに矢印方向（車両外側）から、作業１で外してある純正のキャリパーボルトを入れ構成品６のキャリパーサポートブラケットを取付け７５Ｎｍで確実に締付ける。

⚠注意
車両のマウントとサポートブラケット接合面に異物の噛込みが無いように、十分に清掃し組付て下さい。

2. ディスク＆キャリパーAssy の取付け

1. 図７を参考に、車両のハブに構成品３のディスクを取付ける。

⚠注意
1. ディスクはスパイラルフィンを採用しており、取付に方向性がありますので、ディスクの左右を間違え無いよう注意し下さい。
（リヤディスク組付時も同様に注意下さい）
2. 取付後のディスクは、ハブナット５個で仮止めして下さい。

2. 上記で仮止めしてあるテーパーナットを５０Ｎｍで均等に締付けて、ディスクの振れを確認する。

	ダイヤルゲージを使い、外周から５ｍｍの位置で測定する。 限度　０．０８mm

2. 作業１－２で取付けたキャリパーサポートブラケットに図８のように構成品７のキャリパーボルトに構成品８のワッシャを入れ、RH キャリパーAssy を取付け７０Ｎｍで締付ける。

⚠注意
Ａｓｓｙ化してあるキャリパー取付けの際、ディスクとキャリパー内のパッドが強く干渉しないよう、十分注意して組付けて下さい。

３．左側も同様に作業し、車両に取付ける。

Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

■右リヤキャリパー組付～取付作業

図 9

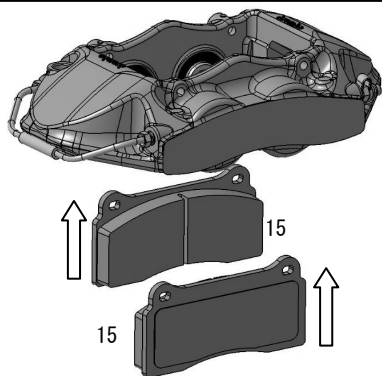



図 10

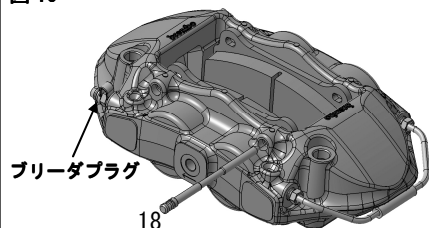



図 11

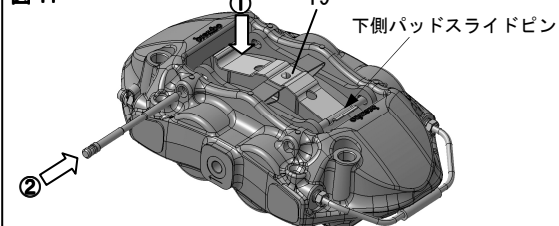
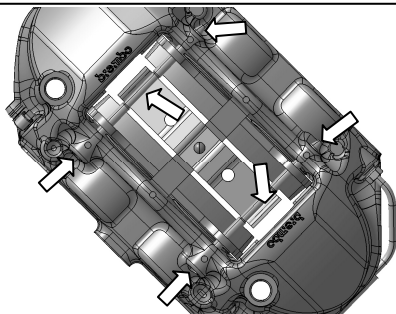
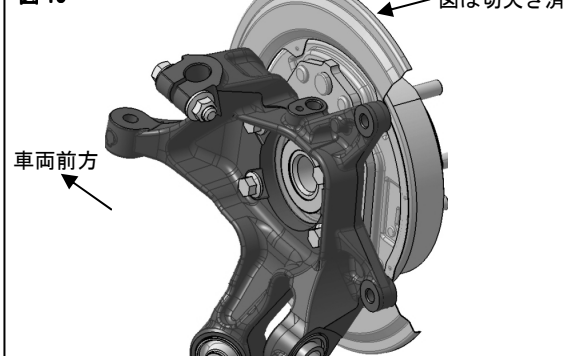



図 12

図 13

１. キャリパーのＡｓｓｙ化

1. 図９を参考にキャリパー内側から構成品１５のパッドを入れる。

⚠注意
パッドを落下させたり、叩いて入れる等の乱暴な扱いは、絶対にしないで下さい。

2. 図１０のように車両取付状態で下側になる開口部のピンホールに構成品１８のパッドスライドピンを挿入する。

⚠注意
・ブリーダプラグ側が上側になります。
・パッドスライドピンは軽く叩きながら最後まで確実に挿入して下さい。

3. 図１１のように、挿入した下側のパッドスライドピンに構成品１９のアンチラトルスプリングのフック部を掛け、反対側を①の方向へ押付け、②の方向から、上側のパッドスライドピンを挿入する。

⚠注意
パッドスライドピンをこじり入れる事の無いようにアンチラトルスプリングは確実に下側に押付けてパッドスライドピンを入れて下さい。

4. 図１２の矢印６箇所、パッドスライドピン２本とアンチラトルスプリングが確実に取付けられている事を確認する。

2. リヤブレーキの分解＆ダストカバーの切欠き

1. 当該車両の修理書に従い、車両からブレーキキャリパー・ディスク・ブレーキホースを取外す。

⚠注意
外したキャリパーボルトとブレーキホースの中間固定ボルトは、後に再使用しますので保管して下さい。

2. 図１３のようにダストカバー外周をエアソー等を使用し１部を切欠く。（**８ページに指示図**）
3. 切欠き面をきれいに仕上げ、タッチアップペイント(黒)等で防錆処理をする。

⚠注意
・保護メガネ・手袋等の防傷準備をし作業して下さい。切欠き時に飛散した粉塵は錆の原因となる為、エアブローにて完全に除去して下さい。
・変形させぬよう、慎重に作業して下さい。
・切欠面はバリの無いようにきれいに仕上げ、脱脂後に塗装で仕上げて下さい。

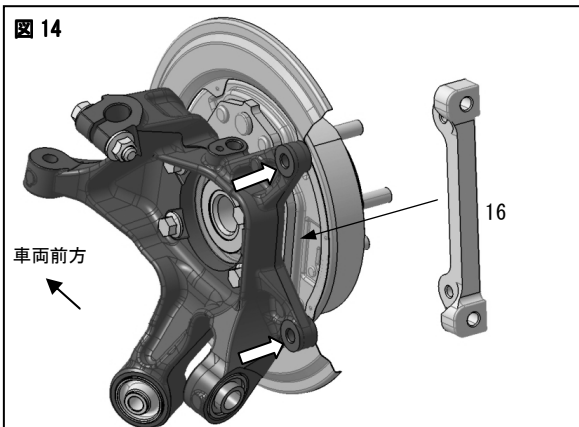
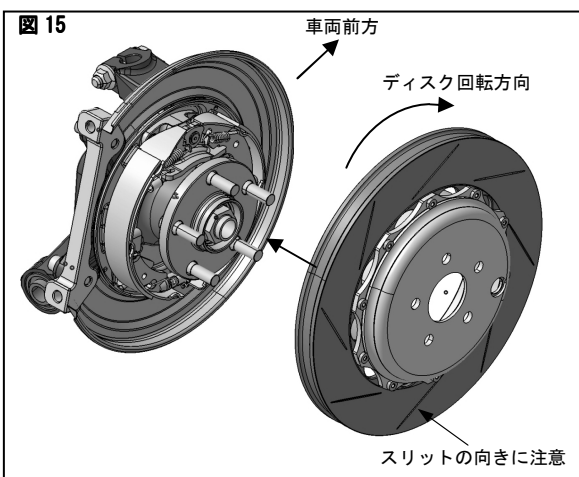
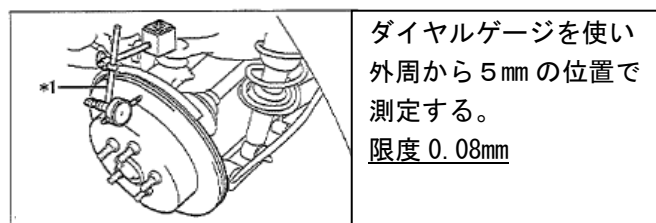
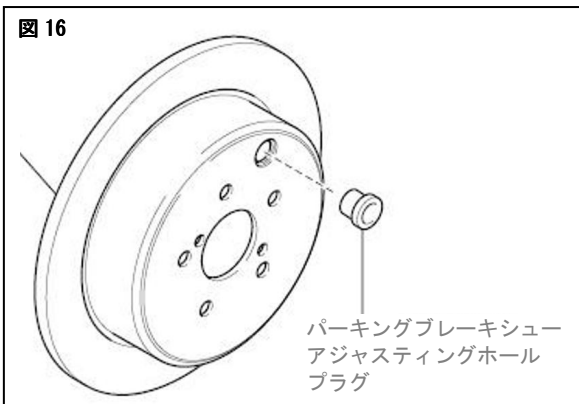
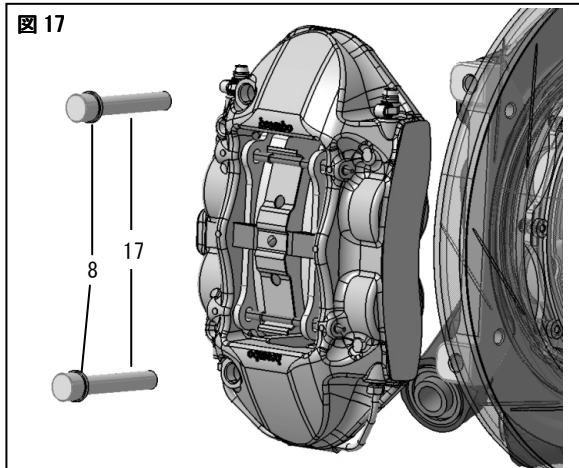
Racing Development TRD トヨタテクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

3. 右リヤキャリパーサポートブラケットの取付け

図１４のように矢印の方向(車両内側)から純正のキャリパーボルトを挿入し、構成品１６のキャリパーサポートブラケットを取付け７８Ｎｍで確実に締付ける。

4. 右リヤブレーキディスクの取付

1. 図１５のように構成品１３の右リヤディスクを取付け、仮止めをする。

⚠注意
- ・フロントと同様にディスク回転方向、スリットの向きに注意し左右を間違え無いで下さい。
- ・取付けたディスクはハブナット５個で仮止めして下さい。

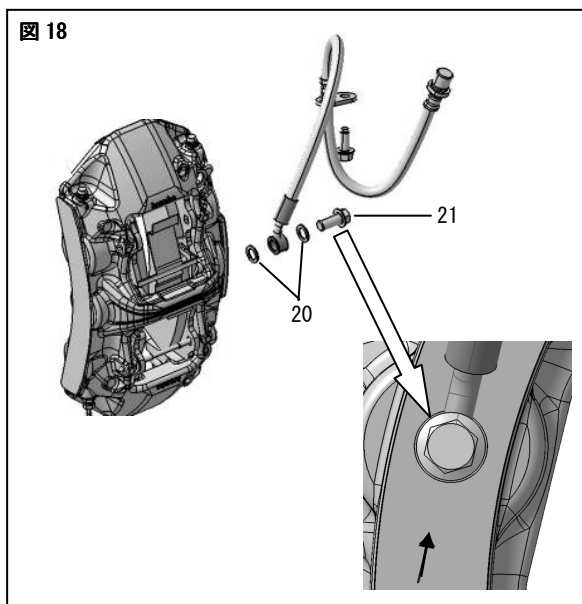
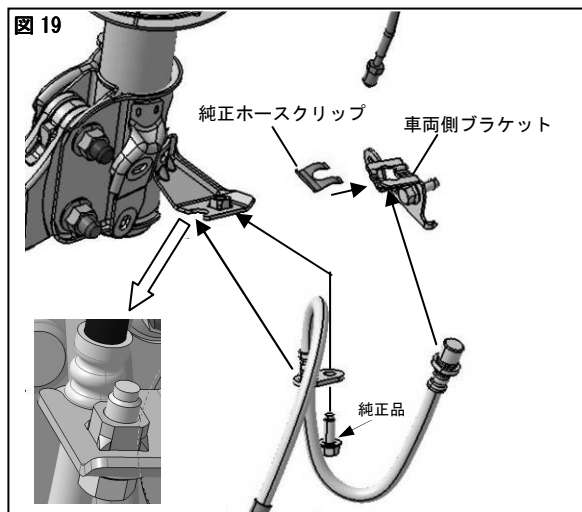
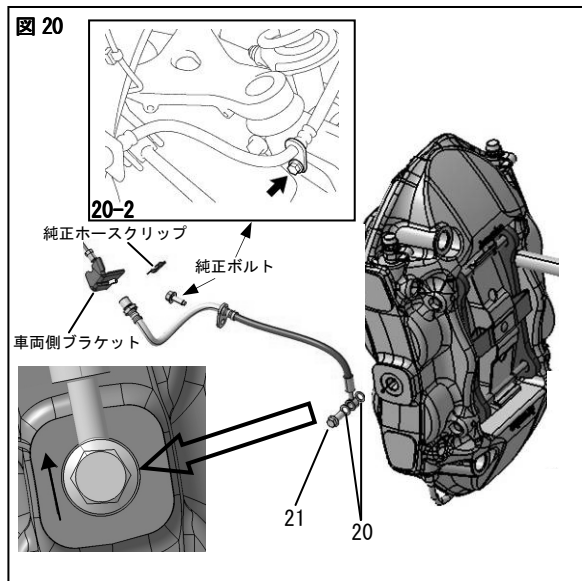
2. 図１６のように、純正ディスクからパーキングブレーキシューアジャスティングホールプラグを取外し、移植する。
3. 上記で仮止めしてあるハブナットを５０Ｎｍで均等に締付けて、下図を参考にディスクの振れを測定する。

ダイヤルゲージを使い外周から５mm の位置で測定する。
限度 0.08mm

5. 右リヤキャリパーＡｓｓｙの取付け

4. 図１７のようにキャリパーAssy を取付け、構成品１７のキャリパーボルトに構成品８のワッシャを入れ７０Ｎｍで締付ける。

⚠注意
キャリパー取付の際、組付済のパッドとディスクが強く干渉しないよう十分注意して組付けて下さい。

6. 左側も同様に作業し組付ける。

Racing Development TRD
トヨタテクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

7. フロントブレーキホースの取付け

1. 図１８のホース角度を参考に、ユニオンボルト穴の下にある矢印の延長線方向にブレーキホースの向きを合せ上向きに取付け、構成品２０のガスケットと２１のユニオンボルトを使用し１８Ｎｍで締付ける。
2. ハブを直進状態にし、ホース中間ブラケットの金属パイプ部分を図１９のようにアブソーバーブラケットのＵ溝部分に合わせ、あそび、ガタの無いように押さえ、純正ボルトを使用し３３Ｎｍで締付ける。
3. 車両のブレーキパイプとの接続部を車両側ブラケットに挿入し、ホースに無理な捩れの無い事を確認後、ホースクリップで固定する。
4. 固定したホース接続部に車両側ブレーキパイプのフレアナットを手で仮締めし、フレアナットレンチを使用し１５Ｎｍで締付ける。

8. 左側も同様に作業し組付ける。

⚠注意
組付後、ステアリングをロックトゥロックで操舵し、ブレーキホースと他の部位との干渉が無いか、無理な張りが無いかを確認して下さい。全ての作業終了後にもタイヤを付け、リフトダウンした状態でも点検して下さい。

9. リヤブレーキホースの取付け

1. 図２０のように、ユニオンボルト穴近くの矢印と平行にブレーキホースの金属パイプ部を合わせ、ホースを上向きに取付け、構成品２０のガスケットと２１のユニオンボルトを使用し、１８Ｎｍで締付ける。
2. 図２０－２のようにホース中間ブラケットをナックル前側の取付穴位置に純正ボルトを使用し３３Ｎｍで締付ける。
3. 車両側のブラケットにホースを入れ、ホースクリップで固定する。
4. 固定したホース接続部に車両側ブレーキパイプのフレアナットを手で仮締めしフレアナットレンチを使用し１５Ｎｍで締付ける。

10. ブレーキラインのエア抜き

1. 修理書の手順に従い、ブレーキラインのエア抜きを実施する。

⚠ 重要注意事項

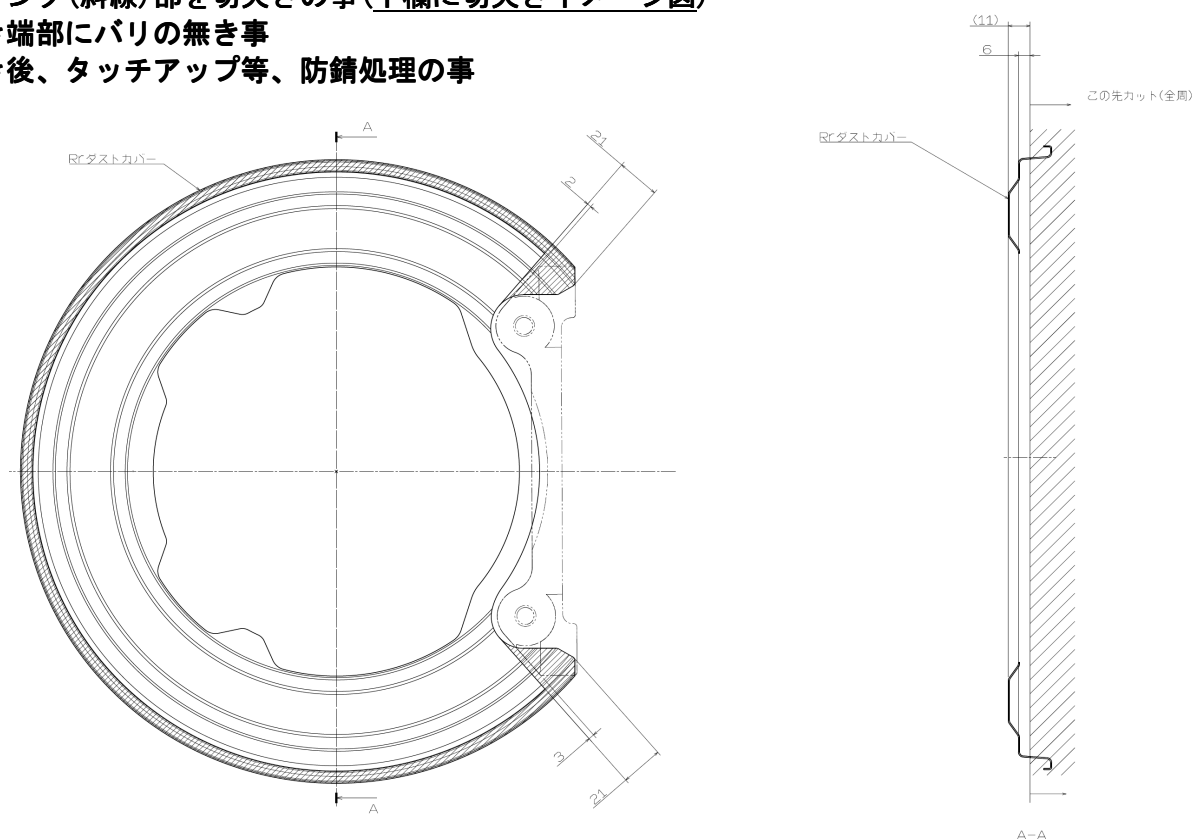
ブリーダプラグの締付けはＦｒ/Ｒｒ共に１８．５Ｎｍを厳守して下さい。

11. 取付作業完了後の確認

1. 全ての作業完了後、ブレーキホースフレアナット部及びブリーダプラグ部のブレーキオイルを洗浄液で除去し、カラーチェックをする。
2. タイヤを取付け、３～５Ｋｍの通常走行を行いブレーキの片効き及び、異音の発生等が無いかを確認する。
3. 走行確認後、カラーチェック部分を点検し、ブレ—キオイルの滲み痕が無いかを確認し終了。

⚠注意
点検後のカラーチェック剤(白粉)は、滲みの確認後、エンジンブラシ等で除去して下さい。

※ リヤブレーキダストカバー切欠き指示図

- ・本図はＲＨ(裏面視)にて指示、ＬＨは対称
- ・ハッチング(斜線)部を切欠きの事(下欄に切欠きイメージ図)
- ・切欠き端部にバリの無き事
- ・切欠き後、タッチアップ等、防錆処理の事

(**切欠き部位イメージ図**) 外縁矢印の淡色部分を切欠いて下さい。

Racing Development TRD
トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122